

入場無料(要申込み)

# ものづくりを輝かせる

## あいち産業観光フォーラム

新型コロナが社会に与えた影響は大きいですが、それは、観光も例外ではない。たとえ身近であっても、深い体験的価値を伴う場があることが分かった。それを“価値共有の観光”と呼んでおこう。

愛知の場合、そのような体験的価値の多くがものづくりの場にある。土(陶器)の常滑、糸(繊維)の一宮などには、額に汗してもと向き合う職人がいる。その長年の営みによって、技の粋が埋め込まれた場ができあがる。

そこでの観光は、価値のシェアが必要であり、場の意味を体験的に理解する必要がある。そしてその際、場の意味を学習するメディアとしてのアートの役割は大きい。

だが本当にアートと観光が融合した価値共有の観光は成り立つのか…この夏開催されるアートイベント(国際芸術祭「あいち2022」)を前に、その可能性について考えてみたい。



申込みは下記ホームページから

<https://www.ngu.jp/and-n/important/forum20220618/>



定員 会場/先着25名  
オンライン/先着200名

### パネルディスカッション:テーマ

## 「価値をシェアする観光の未来 —アートと融合するツーリズム」

### コーディネーター

名古屋学院大学 現代社会学部 教授 古池嘉和

専門は地域政策。主著に『地域の産業・文化と観光まちづくり』など

### パネリスト(敬称略)

栗本真彦 国際芸術祭「あいち2022」アーキテクト/栗本設計所主宰

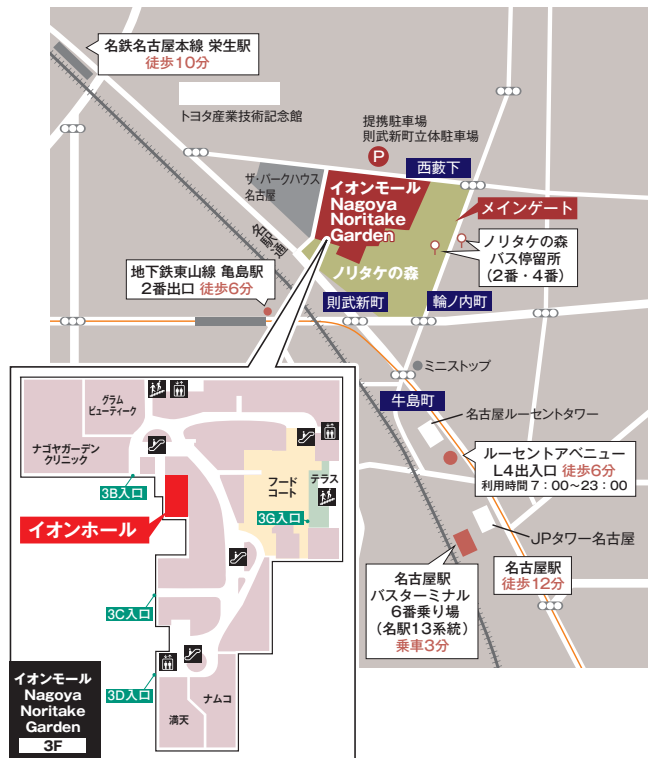
江坂恵里子 ユネスコ・デザイン都市なごや推進事業実行委員会

武田光弘 愛知県観光コンベンション局長

杉江寿文 器と暮らしの道具 morrina

阿部順子 椋山女学園大学 生活科学部 准教授

井澤知旦 名古屋学院大学 現代社会学部 教授



お問合せ先

主催 名古屋学院大学社会連携センター TEL: 052(678)4085

後援: 愛知県/国際芸術祭「あいち」組織委員会

MAIL: renkei@ngu.ac.jp